

# リゾートトラスト(株)索道安全報告書

(グランディ羽鳥湖スキーリゾート)

第一ペアリフト

第二ペアリフト

第三ペアリフト

第四ペアリフト

第五クワッドリフト

’ 10 ~ ‘ 11 シーズン

## (1) ご利用者の皆様へ

このたびの東日本大震災の被害を受けられた皆様とそこご家族に、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興と皆様の健康を心よりお祈り申し上げます。

シーズン中はおかげさまで数多くのお客様にご来場を頂きまして、無事終了しましたことをご報告させていただきます。

日頃より当社スキー場のご利用と索道事業に対し、ご理解をいただきまして誠にありがとうございます。

当社は経営理念にお客様の安全確保を第一に掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に最大権に努めております。

本報告書は鉄道事業法に基づき輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

リゾートトラスト(株) グランディ羽鳥湖スキーリゾート  
代表取締役社長 伊藤 勝康

リゾートトラスト(株) グランディ羽鳥湖スキーリゾート  
索道安全統括管理者 支配人 佐藤 利幸

## (2) 輸送の安全を確保する基本方針と安全目標

### 1、基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義の有るときは最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。

⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

## 2、安全目標

今シーズンも無事故、無災害で営業を終了することができました。

### (3)事故等の発生状況とその再発防止措置

#### 1、索道運転事故(索道人身障害事故)

ありませんでした。

#### 2、災害(地震や暴風雨、豪雪など)

今シーズンは、3月11日の東日本大震災による災害がありました。当日は緊急地震速報が入った時点でリフトを停止させ、係員が乗降場や支柱等の点検を行い安全を確認した後、停電も瞬間的なものだったので低速運転にて乗客を降ろしました。また、大きな揺れでしたが乗客にケガ人はいませんでした。その後、営業を見合わせていたが余震や原発事故の影響で安全の確保が難しいため15日に今シーズンのクローズを決定することになった。

なお、今シーズンは強風のため全リフトが運休することはありませんでした。ただ、第一ペアリフトは一時休止が1回、途中より運休が1回。第三ペアリフトと第5クワッドリフトは強風による途中運休が1回ありました。

#### 3、インシデント(事故の兆候)

ありませんでした。

#### 4、行政指導

昨年10月にリフトを管轄する国土交通省より、運輸安全マネジメント評価を受けました。これはJR西日本の福知山線脱線事故を教訓に安全に対するスキー場のリフト運行に対する取り組みを聞き取り調査するもので、当社からは社長、安全統括管理者・索道技術管理者が出席し東京本社にて行なわれましたが、特別な指導等はありませんでした。

### (4)輸送の安全確保のための取り組み

#### 1、人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取り扱いについての安全教育を実施しています。中途採用者等があった場合はその都度実施しています。また、東北運輸局・東北索道協会の研修会及び講習会に積極的に参加し安全の確保に努めています。昨年は、東北索道協会が主催する「運輸事業者危機管理セミナー」に、安全統括管理者が参加し、東北運輸局が主催する索道技術管理者定期講習会に2名参加しました。

## 2、緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前及びシーズン中も定期的に、職員一同にて救助訓練を実施しています。また、パトロール隊長及び事務職一名は救急救命装置の講習を受けており AED の器具も備えて有ります。

## 3、安全のための投資と支出

安全維持の向上のため、毎年計画的に施設改修を行っています。来シーズンに向けシーズンオフには予算 160 万円を掛けて整備いたします。

## (5)当社の安全管理体制

社長をトップに安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

## (6)利用の皆様との連携とお願い

### 1、「お客様の声をかたちにしています」

より安全で信頼される索道を作るため、皆様からお寄せいただいた声を役立てています。

### 2、お願い

- ①空き缶・タバコの吸殻・その他物品を乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
- ②搬器から飛び降りたり搬器を揺らさないで下さい。
- ③衣服・携帯品などが、搬器に巻き付かないように注意して下さい。
- ④乗り方・降り方に不安のある方は、係員に申し出てください。

## (7)ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

〒962-0623

福島県岩瀬郡天栄村羽鳥湖高原

リゾートトラスト(株) グランディ羽鳥湖スキーリゾート

TEL 0248-85-2024

FAX 0248-85-2380

E-mail grandee@hatoriko.com